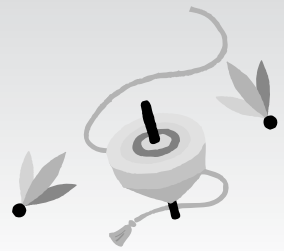


## とうございます 年頭にあたり



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

本町の総合計画後期基本計画も残すところ後2年となりますが、町民の皆様が夢と希望の持てる町となるよう、「快適 ふれあい」活力のあるまち「上三川」をまちづくりの目標として、その実現を目ざしまして各種の施策を展開しております。

町民の皆様方にはこれまで様々な面でご支援、ご協力をいただき心より御礼を申し上げます。

さて我が国の経済は、長く続いた低速期を脱し、一部業種に明るさが見えるなど回復基調にあります。日本経済全体の改善にはも

うしばらく時間がかかるものと見込まれます。このような状況から、税収の大幅な増加が見込めない国の財政は、相変わらず厳しい状況が続いております。本町におきましては、国と同様に、町税収入は横ばいであるにもかかわらず、国庫支出金や地方交付税等の減少により財政運営は一層難しくなっております。

しかしながら、このような時こそ、多くの方々が知恵を出し合い、将来に夢と希望を持てる事業を展開する必要がありますと考えております。

本年は重点施策のひとつであり「(仮称)総合保健福祉センター」の基本設計、実施設計に着手するとともに、新たに小学校6年生までの医療費の無料化や第3子以降の子育て支援事業を導入し、良好な子育て環境を創造してまいります。

また、市街地整備や生活道路の整備あるいは上下水

道事業並びに農業集落事業等の生活環境の整備を図るとともに、首都圏農業の推進や教育施設の整備、保健福祉対策等の各種事業を行い、町民の皆様が「安全で安心できる」まちづくりに努めるとともに、「魅力あるまち」として定住人口の増加に繋がるような事業を推進するものでございます。

現在本町は、宇都宮市との合併を目指した協議を進めているところですが、多くの町民の皆様が望む上三川町の未来像を実現するために最大限の努力をしてまいりますので、今後とも町政執行につきまして、皆様方の一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。年頭にあたりましてのご挨拶といたします。

初瀬成男

# あけましておめで



新年、明けましておめでとうございます。町民の皆様には、健康で希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。わたくしが議長に就任し、早2年の歳月が過ぎましたが、その間、町民の皆様には多大なるご支援とご協力をいただき、衷心より感謝申し上げます。

我が国の経済は、昨今、株価の回復基調、失業率の低下など、明るい兆しがかすかに見られるものの、わずかに一部のことであり、全体としては依然として低迷を続けております。国・地方では財政難の事態に陥り、また多額の借金

も抱えております。多くの市町村は、税収が大きく落ち込み、国からの地方交付税交付金（補助金）も年々削減されており、財政運営に苦慮している状況であります。

そのような中、本町において、高齢化に伴う老人福祉・介護保険など住民の生活を守り向上させるための環境整備や、諸々の需要を満たすために、あらたな地域づくりなどにどう取り組むのか、今まさに問われているのではないでしようか。

現在、行政の「合理化」、「質」と「量」の面から、宇都宮市を中心とした市町合併の協議が進められておりますが、国の財政援助の期限となる平成17年3月の合併を目標に掲げており、残りあと約1年と迫ってまいりました。町議会としましては、最重要課題の一つとして全力で取り組んでまいります。

また、多くの町民が建設

の反対をしている感染性医療廃棄物中間処理施設について、町議会では、関係団体・町と協働して昨年にも増して、設置許可を下した県知事に対し許可の取消しを、事業者には計画の断念を要請し続けていく所存であります。

今後の地域の発展にかかわるこの重要な時期に当たり、私ども町議会としまして、皆様の意思の集約者としてその機能を最大限に發揮し、英知を集め、勇気と決断をもって山積する課題に取り組んでゆく決意でありますので、町民皆様方のなご一層のご支援とご協力をお願い致します。皆様方のご多幸とご健康を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

坂入 寛六郎